



新しい音楽家の道を歩んだモーツァルト

幼児教育学科 教授 兎束淑美

今年にはモーツァルト誕生250年に当る。モーツァルトの生まれたオーストリーのザルツブルクでは、毎年音楽祭が行われているのは有名であるが、今年には日本を含め世界中でモーツァルトを記念する演奏会が行われている。

なぜこんなにモーツァルトのことが話題になるかという、何と言ってもモーツァルトの音楽の素晴らしさにある。モーツァルトは天才音楽家であった。それらのエピソードに触れてみると、現在でも演奏される4歳の時のピアノ曲は、彼の才能に最初に気付いた音楽家であった父レオポルト・モーツァルトが息子の弾いたピアノ曲を聴いて、楽譜にし記録を残してくれたお陰である。又幼いモーツァルトは父親や姉と共に演奏旅行を多くしている。或る時ウィーンのシェーンブルク宮殿での御前演奏の折、7才のモーツァルトは磨き抜かれた寄木細工の床の上で転んでしまった。その時一人の皇女が助けてくれた。その親切な皇女こそ、後にフランス国王ルイ16世の王妃となり、フランス革命で断頭台の露と消える悲劇の女王マリー・アントワネットであった。感動したモーツァルトは彼女に「大きくなったら結婚してあげる」と語ったと言われている。早熟ぶりが窺えるエピソードである。又旅の途中、或る教会の門外不出の曲の演奏を聴いた後、宿に戻って、その曲を楽譜にしてみたという、曲は8声の（8つのメロディーが一緒に出て来る）曲と言われている。

優れた才能を持ったモーツァルトであったが、当時の音楽家にとって一番の就職先であった宮廷や教会の音楽活動に従事することが出来なかった。諸々の事情で、そのような機会をすぐ見つけることが出来なかった。こうしてモーツァルトは自分で十分やって行けると考えた新しい音楽家としての道を歩んだ。

1つはウィーンの上流階級の人々を中心に予約会員をつくり新作をどんどん創作し演奏会をした。モーツァルトはクラヴィーア（ピアノ）の名手であったので自分で演奏した。もう1つは出版社と関係を持ち作品を買ってもらう。更に彼は余り好まなかったが弟子を教える事などであった。最初は非常に成功して豊かな生活であったが、31才頃から本人の浪費癖もわざわざいして経済

が悪化してゆく、作曲活動においては名作を残し乍ら発表した作品はお金にならず貧困と病気で35才の若さで亡くなった。死後モーツァルトの音楽は高く評価されている。現代では心を癒してくれる音楽としても人々

や全て命あるものに影響を与えている。天才と言われたモーツァルトの生涯を思う時に、その影に並々ならぬ努力を見る事が出来る。誕生250年、こ

んなタイミングも素敵な出会い、モーツァルトの音楽会に行ったり、或いは本を読

み音楽や映像を通して深く知ることが出来れば、きっとモーツァルトの音楽の美しさ、いきいきとした躍動感や輝きは皆さんの青春の1ページを更に豊かにしてくれるように思う。

目次

新しい音楽家の道を歩んだモーツァルト

幼児教育学科	教授	兎束淑美	1	
留学 一文化の交流一	学長	松田幸子	2	
附属図書館稀購書探訪『イソップ童話』の受容史をかいま見る				
総合文化学科	教授	大橋敦夫	3	
四回の飯	総合文化学科	教授	宮田暉朗	4
祖父の本	総合文化学科	2年	瀧澤麻奈美	5
私の図書館利用法	幼児教育学科	2年	山本昌子	5
私の図書館活用法	幼児教育学科	1年	飯浜有以	6
本のある空間	総合文化学科	1年	原澤志歩	6
図書館ガイド			7	
図書館ニュース			8	

CONTENTS

留学 文化の交流

学長 松田 幸子

外国に滞在して学問や技芸などを学び、その成果として留学生が母国へ持ち帰るものは時代により、人によりさまざまなものがあると思います。遠く平安時代、鎌倉時代の昔に中国に留学した最澄、空海、道元が持ち帰った仏教は、天台宗、真言密教、禅宗であり、日本の宗教界に大きな影響を与えたことはよく知られております。また、江戸末期から明治の始めにかけて伊藤博文や森有礼などが海外に留学し、日本の近代化に貢献したことも有名であります。さらに明治政府は国費による在外研究員制度をつくり、多くの大学教授を留学させてきましたが、この制度は現在も続いております。

第二次世界大戦後、アメリカの教育家であり政治家であるフルブライトの提唱によって出来た制度を利用してアメリカに留学した人のなかには、多くの科学者がいましたが、この人たちの持ち帰った技術や知識が戦後の日本の復興に大きな力となったことは疑いのないことだと思います。

しかしそのように時代を動かすほどのことでもなくても、大学や研究所の留学生による文化の交流は、地味ではありますが、学問や教育の面で効果をあげております。

私は中国の絹産業に大きな技術上の影響を与え続けている信州大学繊維学部の中国からの留学生たちを長い間お世話したことがあります。当時我が家は留学生のクラブのような状態でした。この中には中国の大学で現在、学長や副学長になっている人もいますし、また世界を駆けめぐって活躍している研究者もいます。それらの留学生た

ちにある時、私は留學生活の悩みについて質問したことがあります。これにたいする答えは、日常生活における日本人の親切にとまどうことがあるということでした。例えばある下宿の女主人は日本舞踊の先生で、留學先での女性の独り暮らしは淋しいだろうと家族の一員のようにしてくれたそうです。そのうえ無料で日本舞踊の手ほどきをしてくれたまではいいのですが、時には留學生の勉強の時間をおびやかすほど舞踊の稽古に熱心になり、その上、発表会にまで出るようにと強制したということです。彼女は大学院で研究をし学位を取って帰国するという使命があるので、発表会に出ることを断ると、急に不親切になり意地悪をされ、結局下宿を替えることになったということです。これと似たようなことを経験した留學生は他にもいまして、目的を持って留學をする場合、研究の面だけで苦勞があるばかりではなく、異文化の中での人間関係にもさまざまな苦勞があるようです。

先に述べたように留學生による文化の交流には歴史に残るような大きなものや、ささやかなものまであるわけですが、いずれの場合にもその裏にははかり知れない留學生生活の苦勞が秘められていると推察されます。このような表面に現れてこない留學生生活の苦勞の積み重ねによって文化の交流は花開くのであると思います。

日本でも国際交流が盛んに行なわれている現在、私たちは本当の意味での留學生との人間関係はどういうものであればよいかを考えたいものです。

附属図書館稀購書探訪
『イソップ童話』
の受容史を
がいま見る

総合文化学科 教授 大橋 敦夫

○グリム・アンデルセン・イソップ

幼いころ、皆さんは、これらの名のついた絵本や童話に親しまれたことと思います。そして、その本の成立については、グリム童話は、ドイツのグリム兄弟が採集したお話をまとめたもの、アンデルセン童話は、デンマークのアンデルセンが集めたものと広く知られているようです。が、イソップ童話については、内容に比べると、その名の由来については、あまり知られていないのではないのでしょうか。

○西洋文学翻訳の嚆矢

実は、あまたある西洋文学の中で、日本に最初に紹介されたのは、イソップ童話なのです。時は1593年、日本にキリスト教の布教を企図してやってきたイエズス会の宣教師たちが日本語教科書として作成したものです。九州の天草で出版されたので、『天草版 伊曾保物語』と呼ばれます。

この『天草版』を見ると、奴隷であったイソップの生涯の略伝と、そのイソップが語った寓話とが納められ、書名の由来が明らかになります。（言わば、『一休とんち話』と同じ構造の命名なのです。）

○読み継がれて400年

江戸時代以降、キリスト教は厳しく弾圧されましたが、『伊曾保物語』は、仮名草子などの書物の中で、読み継がれてきました。

明治以降になると、教科書（修身・国語・英語）・児童書・一般書（教訓書）として、さまざまなタイプの『イソップ童話』が出版されるようになりました。

○本学附属図書館所蔵の『伊曾保物語』類
皆さんが手に取って見られる実物の文献としては、以下のものがあります。

- ①『漢訳伊蘇普譚』
香港英華書院原刻 阿部弘國訓點
出版人・青山清吉（東京）
明治9年10月 30丁 袋付き
- ②『密画挿入 伊曾保物語』
大久保常吉編 春陽堂（東京）
明治20年9月再版
（初版明治19年2月）76頁
- ③『寓意懲勸 伊蘇普物語』
田中達三郎訳
木村多喜（東京）発行
明治21年3月 213頁
- ④『伊蘇普戯伝』
堀 三友・秋野繁吉共著
文学同士会（東京）
明治32年12月 40+10頁
- ⑤『少年書類 新伊蘇普物語』
佐藤治郎吉著
博文館（東京）
明治35年3月 118頁
- ⑥『英文 伊蘇普物語註解』
河島敬蔵註訳
濱本伊三郎（大阪）発行
明治36年1月 116+86頁
- ⑦『新訳伊蘇普物語』
上田萬年解説
鍾美堂書店（東京・大阪）
明治40年11月 239頁+66頁

以上、明治期のもの7点ですが、漢文体のもの（①）や、サブ・リーダー（⑥）、日本のお話との融合を試みたもの（⑤）など、文体や内容もさまざまなものがあります。また、今日の児童書では省略してしまっているイソップの生涯の略伝について収録しているものも多く（①③④⑤⑦）見られます。

稀購書ではありますが、ぜひ一度手に取ってご覧になってみては、いかがですか。

四回の飯

来し方の山は霧はるかにて・・・だが、癖のある昔話を恥をしのいで若者に語ることにする。

教育2法案衆院通過、ビキニ環礁での福竜丸被曝、神武景気と三種の神器、広辞苑発刊、太陽の季節が芥川賞、教育4法公布、力道山のTV中継など活気に満ちた時代の中学生だった。

野球に明け暮れ、冬は炬燵にあたって焼き芋をかじりながら、漫画の赤胴鈴ノ助、歴史小説、英雄物語、悲劇と伝記が直放する息遣いの享受こそ至福だった。三国志、源平盛衰記、ああ無常、三銃士、太閤記、母を訪ねて三千里、家なき子等は回を重ね、夏目漱石・芥川龍之介・荻原朔太郎などの読破した300冊は、人生の仮縫い状態で極めて単純な直士、直言居士にして弱者救済に終始する資質形成に影響を与えた。

しかしである、生来のおだてに弱く痛癢もちで彦左衛門気取りの反骨と涙腺破壊気質までは陶冶してくれず、自身を驚かせ嘆息させることばかりした。禁止場所で泳いで蛇にかまれ、柵の木からまっさかさまに落ちて重体になるが、そいつを断りなしに切り倒したり、腕白小僧を率いてお宮の天然記念物の木穴の蜜蜂の蜜を採ろうと火をかけ消防出動。(夕飯時、親父に初めて殴られ、涙混じりご飯は喉につかえた。)

高校時は、女子学生亡国論、世界最大タンカー日章丸建造、義務教育の教科書無料、全国学力テスト実施を抱えての拝金主義突入期だった。ジャズを聴き、テレビを見ながらの読書こそ陶酔の場で、森鷗外、菊池寛、横光利一、ゲーテ、プラトンやアリストテレスに惹かれた。

大学では、徒然、今昔などの中世文学、江戸期の国学をかじり藤村と透谷を卒論と

総合文化学科 教授 宮田 暉朗

した。

就職後は書道の漬物になってしまい、もっぱら漢詩の鑑賞とその作品化で30年過ぎたが、中島敦の山月記・李陵・名人伝。永井竜男・山本周五郎・吉川英治の描く人物に傾注しつつ今は、「四書」と童話に読まれて？いる。

読書についての退屈な漫談をしてきたが、オーヘンリーの「賢者のおくりもの」の愛の究極と東洋空間の存在基盤を探り、プラトンの言う教育を人間精神のアイデア(真理)とするなら、その本質を何にすべきか実証し生活に生かす時期がきた。

人は一日に4回の飯を食え、1回は読書という飯だ。と先人は言ったが、その時に、ジイド曰くの「改造すべきは～人間だ。それをお前の内に見出すことを知れ。しかも鉱石から滓のない金属を取るように～」を読書法の留意点にしたい。

いじめによる自殺や必修履修問題で高校長が亡くなっている。殺人がやたらに増えている。

幼子がしつけと称して殺されている。人の破壊である。勝ち組負け組み、メールの落とし穴もある。人という美しい崇高な生き物は、灰色の魂を深く蔵しつつ鬼にもなれる生き物であることを証明している。だからこそ、美しい本との対話で涙し、笑い、思考し、本物の発見によって惻隱の情を養い、人らしい挙措につなげたい。

格子戸は外から中は見えにくい、中からは見える。牛が通りすぎても尾は見えない、その尻尾こそ自分である。自分探しの目的は自立だが、教訓いろはカルタは、「本は読め本にすぎるな」と行動の自立を端的に言う。本を自立の案内役にならなかつ、社会性を身に付け人に迷惑をかけずに、言葉を正しく遣える生き方をしたいものだ。そこに惻隱の情を込められたらいいな。

内孫ができたなら、思い切り読み聞かせをしたいと念じつつ、本文の孟波を恥じる次第。多謝。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 祖父の本

総合文化学科2年 瀧澤麻奈美

他界した祖父の趣味は読書でした。祖父の姿を見れば大抵は、テレビを見ているか読書をしているかでした。

祖父の所蔵していた本を、一旦は資源回収に出そうとしていましたが、その殆どを私がもらい受けることにしました。祖父が好んで読んでいたのは司馬遼太郎、池波正太郎などの歴史小説。家族の中で活字と歴史が好きなのは、祖父と私だけだったのです。今更に思うのは、私はそういうところが祖父と似ていたということ。けれども、祖父は歴史の中でも江戸時代に興味を持っていて、私は平安から戦国時代が好き。本の扱いも、祖父は気にしないのかポロポロのものが多く、私は気を付けている方です。

祖父は病気の為、うまく喋れない人でした。二十年近く一緒に生活していたのに、私はまともに意思の疎

通がとれた記憶がありません。そのため、祖父が何を思い日々を過ごして来たのかわかりません。しかし残された本が、祖父がどういう人であったかを物語っていると思います。どんな本を読んでいたかは、その人がどういうものに興味を持ち、好んでいたかを教えてください。本の保存具合には、その人の性格が現れています。その本を一冊読み終えるたびに、祖父の気持ちに一つ近づけるのではないかと思います。

毎日ガツガツ読むタイプではないので、何年も何年も掛かってしまうかもしれませんが、いつかちゃんと祖父の本を読破したいと思います。そして私もこの先、後の誰かに残せるような本に出会いたいと願うばかりです。祖父にそういうつもりはなかったと思いますが、私は興味を抱くことばかりで楽しいからです。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 私の図書館利用法

幼児教育学科2年 山本 昌子

私は本を読むことが大好きです。また、図書館という空間も大好きです。暇さえあれば図書館に行き、大好きな読書を楽しんでいます。

なぜ読書が好きになったのか考えてみると、母が毎晩絵本を読んでくれたことがきっかけだと思います。布団に横になって、母が読んでくれる絵本に耳をかたむけると、何度読んでもらった絵本でも、わくわくした気持ちになれました。

短大生となった今、私は附属図書館を存分に活用しています。附属図書館は多くの書物の他に、絵本や紙芝居、エプロンシアターなど実習に役立てられるものがたくさんあります。実習前には、不安な気持ちを抱えながらも、実習で会う子ども達に思いを巡らせて絵本を選んだりしました。大型絵本やエプロンシアターなどは、事前の準備はとても大変だけれど子ども

達はとても喜んでくれました。実習で、歯磨きの大切さを知って欲しいと思って「おかしな国のくいしん坊」というエプロンシアターを図書館で借りてゆき、演じてみました。終わった後、子ども達は一生懸命歯磨きをしてくれていて、エプロンシアターはこちらの願いが伝わりやすいということも感じました。エプロンシアターなどは、自分で買うということがなかなかできないのでとても助かりました。また、たくさんの実習関連の本もあるので、とても参考になりました。

私にとって図書館は落ち着ける場所でもあります。図書館に一歩足を踏み入れれば誰もが口を閉じ、本と向き合っています。だから私も、ゆったりとした中で、読書を楽しんだり、勉強に励んだりしています。学生生活は残り少なくなってきましたが、今後も図書館を利用して、読書を楽しんでいきたいと思っています。



私の図書館活用法

幼児教育学科1年 飯浜 有以



ある先生が「図書館は宝石箱だよ。」とおっしゃっていました。私は本当にその通りだと思いました。私が図書館を利用する理由は3種類あります。1つ目は授業に必要な資料を探す時です。最近では、「ことばの指導法」という授業でパネルシアターの製作のために必要な資料を探し、それを基にしてパネルシアターを作っています。また、音楽コースに所属しているので、外国語の歌の歌詞が載っている本を探して調べたりしています。

2つ目は、実習の前に絵本や紙芝居を借りて練習したりしています。図書館には本当にたくさんの絵本や紙芝居があります。1回に5冊まで借りることができるので、0～5歳児までそれぞれの年齢に合った絵本を1度に借りられてとても便利です。

3つ目は授業の空いている時間に本を読みに行った

ります。私は特に『サザエさん』の原作本を読むのが好きで夢中で読んでいました。

このように図書館には私達に役立つ資料がたくさんあります。他にもAVルームでDVDを見ることができたり、J-POPやクラシックのCDを借りることができたりなど、様々な機能が備わっています。人によって色々な方法で活用できるので、図書館は大いに利用しないと損だと思います。図書館にはまだまだたくさんの宝石があると思います。私はこれからもその宝石を見つけるために図書館を利用し続けようと思っています。



本のある空間

総合文化学科1年 原澤 志歩



私が初めて行った本のある空間は地元の公民館の中にある小さな図書室です。2階の奥にあり、1、2人の職員しかいなくて、貸し借りも全て手書きのとてもレトロな図書室です。

次に通い出した所は高校の近くにある5階建ての近代的な図書館です。広いフロアーに一生涯かけても読みきれないくらいのたくさんの本があり、飽きることがありません。

そうして今は、短大の図書館をよく利用しています。

私の生活の中で図書館は大きな割合を占めています。いつもどこかの図書館に通っています。もちろん本を読むことも好きですが、私は「本」というより、「図書館」という『本のある空間』が好きです。図書館に入った瞬間に感じる期待感、時間が止まっている

ように思えるゆっくりとした雰囲気、好きな分野の本をのんびりと見ていられる空間が、私のマイペースな性格に合っていて、落ちつくのだと思います。

私は今、公共図書館でアルバイトをしています。利用者の立場とは違い、のんびりとはしていきませんが、そこから得るものはとても多いです。また、子どもの読書離れがしばしば言われるようになった中、両手いっぱい絵本を抱えてくる子どもたちの姿を見ると、図書館も本も捨てたものではないなと思えてきます。

図書館司書課程の勉強は難しいですし、アルバイトの効率もまだまだ発展途上ですが、私はこれからも一息を入れに、図書館へ通い続けるだろうなあと思います。生活の中に常に「読書」を入れていきたいです。

図書館ガイド

アカデミーヒルズ 六本木ライブラリー 「知的ネットワーキングプレイス・六本木ライブラリー」

今夏、私立短期大学図書館協議会全国研修会が東京で開催され、研修日2日目の見学研修で、六本木ヒルズにある「アカデミーヒルズ 六本木ライブラリー」を見学する機会を得た。

ある人をして「最高にとんがった図書館」と言わしめた、従来の図書館スタイルを根底から覆したライブラリーとはどんなものか、紹介したい。

1、場所：東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階

ご存知六本木ヒルズ森タワー49階に直通エレベーターで昇ると、東京一円はもとより房総半島、箱根連山、筑波山、もちろん富士山も望める360度の眺望抜群な知的空間が広がる。

2、会員制の私設図書館

「図書館を書斎として使おう」、知的空間を提供しよう…とのコンセプトで森ビル文化事業部が設置した会員制のライブラリーで、メンバーとなるには、

- ① オフィスマンバー…入会金30万円月額使用量（会費）94,500円
メンバーは365日、24時間ライブラリーの全施設・設備の利用が可能。現在会員数160名ほど。
- ② コミュニティメンバー…入会金10,000円、月額使用量9,450円
マイライブラリーゾーンを中心に365日、8：00～23：00まで利用可能。現在会員数2,600名ほど。
- ③ ワンデイメンバー…1日2,000円。
グレートブックスライブラリー・カフェライブラリーを365日、8：00～23：00まで利用可能。主に学生や見学者がこれを利用している。

3、特徴・知的コンテンツ・サポートサービス

世界的に有名な建築家のプロデュースにより、インテリア・調度品・アメニティ等を整備。従来の図書館学上の十進分類配架法はせず、書店配架方式になっている。自由きままにこの空間を利用する。

蔵書構成もメンバープロフィールを考慮し、今日的な課題に沿った高質なテーマの書籍・雑誌を収集。会員に企業家が多いこともあり、ビジネス展開とキャリアアップに資するよう、常に新刊書が流れているようにしているという。蔵書数は現在約35,000冊。内容の更新に留意し、約3年経過したものは、基本図書・参考図書以外は廃棄し、入れ替える。

館外貸出しは行わず、会員には10%引きで販売をしている。（図書館でありながら本を買うことができる）当然ラベルなどは貼っていない。ICチップが埋め込まれている。

簡易型OPACを導入、携帯モバイルからも検索が可能。館内にライブラリアンの姿はあまり見当たらず、メンバーの自主性・モラルに任せられている。

オフィスマンバーの中には、個室で端末を使いワーキングする人が多いと聞く。まさに「マイ書斎」を持つ感覚である。コミュニティメンバーや、ワンデイメンバーも、360度眼下に都下を一望し、コーヒー・ビール・ワインなど自由に飲みながら、洋雑誌などをめくっている人・数人でおしゃべりしている人など様々である。

4、プロフィール

会員の構成は勤め人が50%以上で、企業家が全体の30%、学生（主に大学院生）・公務員・教員も多いという。

会員には、職業生活において活発で、能力も高く、より豊かで常にもう一段高いレベルに自分自身を高めたいという願望のある20～40才代の人が多く、自宅で叶えられない己の居場所を確保できることや、関東一円を眺望できる景観に満足しており、仕事をしたり、インキュベーションの時を持ち、余暇を有効に過ごしているという。

最近では女性の会員が増加し、セレブ族が自分の個室を求めてやってくるという。

ステータスを享受する…あなたもセレブ族の仲間入りは如何！！

(N)

図書館 ニュース

第7回 七夕文学賞

◆恒例となりました七夕文学賞も、
本年は左記のみなさんの作品が受賞となりました。

優秀賞

自由詩 総合文化学科 二年 渡辺 五月

一夜

星の出ていない七夕に
縁日で買った
瓶詰めのお金平糖
指でつついて
ころがして
星屑をばらまいた
天の川

佳作

短歌 総合文化学科 二年 永井 沙知

めぐりゆく 時間ときに変わらぬ 思い乗せ
星の川辺で 逢える ひととき

佳作

短歌 総合文化学科 一年 坂本 茜里

いつの日か 会えると信じ 眠る夜に
さざ波こえて 寄り添う星よ

佳作

短歌 総合文化学科 二年 大池 由佳利

叶えたい 願いを綴る 短冊に
黒いインクの染みが 広がる

※選考・添削は、長田真紀先生にお願いしました。



なにかを見つけられる
ところへ

附属図書館司書
須田 智里

初めて一冊の本を独力で読み終えて感動したときから、もう何十年も図書館にいます。長く大学図書館に勤務し、今年の四月からこの附属図書館で司書を勤めています。
ところで、短期大学は授業が一日中ぎっしり詰まっています。とても大変だと思えます。本を読む時間がなかなか取れないかもしれません。この図書館には沢山おもしろい本があります。探していることがあるときは、司書に頼ると効率よく調べ物ができます。何の目的もないときは、書架をぶらぶらと廻ってみましょう。ショッピングに行つたときのように。ぎっしりと掘り出し物が見つかりますよ。学生の皆さんには、発見したときの感動を沢山もっていただきたいと思っています。

編集後記

a postscript by the editor

『みすず』第33号をお届けします。原稿を寄せられた松田学長、教員・学生の皆さん、ありがとうございました。
ところで、所構わず化粧に余念のない現代の若い女性ですが、美人の三要素は①美しい日本語を話せること、②美しい立ち居振る舞い、③深い知性だそうです。①②は読書で得ることができません。③はそれについてきりましょう。(S)

みすず

第33号

上田女子短期大学附属図書館報
2006.12 発行

編集：上田女子短期大学図書館紀要委員会
発行：上田女子短期大学附属図書館

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620
Tel: 0268-38-6019 Fax: 0268-38-6019
E-Mail: lib@uedawjc.ac.jp